

令和7年度（2025年度）
第2回渡島教育局管内
特別支援連携協議会

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

**「学びの場の柔軟な見直しに繋がる自立活動の指導」
取組事例集**

小学校

第2回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：小学校

各機関において「学びの場の柔軟な見直しに繋がる自立活動の指導」に係る具体的な取組や事例等、どのようなものがありますか。
※関係機関として幼・小・中・高等学校と連携している取組、事例等の具体も可

所属・学年・在籍	小学校・第6学年・自閉症・情緒障がい特別支援学級
本人及び保護者の願い	本人・保護者：中学校から通常の学級へ転籍をしたい。
自立活動の指導の具体	他人の感情を推測したり、物事の背景を考えたりすることへの困難さに対し、自立活動の時間にSSTを実施し、対人関係スキルを身に付けるよう指導を行った。また、自立活動の時間に行った内容を日常の学校生活で生かすことができるよう、生活場面における相手の気持ちを考える場面を増やした。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組はどのようなものですか。

円滑な要因	個別の教育支援計画を活用することで、子どもの実態を客観的な資料に基づいて把握するとともに、保護者の協力を得て、指導や支援の目標や内容、配慮事項等を示した指導計画を作成することができた。
必要な取組	個別の教育支援計画を活用し、進学先の学校に本児の様子およびこれまでの取組について詳細な引継ぎを行い、中学校の入学に際して本人が不安のないよう、スムーズに進学できるようにする必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

第2回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：小学校

各機関において「学びの場の柔軟な見直しに繋がる自立活動の指導」に係る具体的な取組や事例等、どのようなものがありますか。
※関係機関として幼・小・中・高等学校と連携している取組、事例等の具体も可

所属・学年・在籍	小学校・第6学年・自閉症・情緒障がい特別支援学級
本人及び保護者の願い	本人：みんなと仲良くしたい。感情のコントロールが難しく困っている。 保護者：学校で落ち着いて過ごし、友達との関わりが増えてほしい。
自立活動の指導の具体	「環境の把握」や「コミュニケーション」を目的とした自立活動の指導を行った。個別のスケジュールで活動の見通しをもたせ、構造化されたワークスペースで適切な表現方法に係る学習に取り組んだ。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組はどのようなものですか。

円滑な要因	自立活動の内容に関連する学習を交流学級での活動にも位置付け、継続して行うことで、自己理解や他者理解を深めることができた。また、周囲の児童や教師と取組内容や成果を共有することで、他者を認め合う集団づくりに繋がった。
必要な取組	互いを認め合う関係性を構築するため、当該児童は自立活動として、交流学級においてはコミュニケーションスキルの一貫として学習活動を行う必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～



中学校

第2回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：中学校

各機関において「学びの場の柔軟な見直しに繋がる自立活動の指導」に係る具体的な取組や事例等、どのようなものがありますか。
※関係機関として幼・小・中・高等学校と連携している取組、事例等の具体も可

所属・学年・在籍	中学校・第2年・自閉症・情緒障がい特別支援学級
本人及び保護者の願い	本人:高等支援学校への進学希望 保護者:楽しく学校生活を送り、対人コミュニケーション能力を高めたい。
自立活動の指導の具体	「心理的な安定」を図ることを目的とし、指導者間で情報共有を密に行い、本人が落ち着いて学習できる環境を設定し、振り返りや改善を行った。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組はどのようなものですか。

円滑な要因	学習内容・量・時間・環境に係り、指導者間で情報共有を行い、共通理解を図ることにより、本人の情緒の安定や対人面の不安を解消することができた。また、本人の成長や状態に合わせ、指導計画の見直し、改善を図ることができた。
必要な取組	個別の教育支援計画を活用し、これまでの取組の様子や必要な配慮、支援方法について、進学先に引き継ぐことが必要である。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

第2回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：中学校

各機関において「学びの場の柔軟な見直しに繋がる自立活動の指導」に係る具体的な取組や事例等、どのようなものがありますか。
※関係機関として幼・小・中・高等学校と連携している取組、事例等の具体も可

所属・学年・在籍	中学校・第3学年・通常の学級
本人及び保護者の願い	本人：普通高校へ進学、卒業し、社会人として働きたい 保護者：社会人になれるよう応援したい
自立活動の指導の具体	自己理解や感情のコントロールの仕方について、休み時間や放課後の時間を活用し、本人と話し合う場面を設定した。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組はどのようなものですか。

円滑な要因	関係機関と連携し、本人に係るケース会議を開き、情報共有を行うことで、必要な取組について共通理解を図ることができた。
必要な取組	個別の教育支援計画を活用し、本人と繋がりのある関係機関や支援者等について、進学先に引継ぎを行う必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

高等学校

第2回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：高等学校

各機関において「学びの場の柔軟な見直しに繋がる自立活動の指導」に係る具体的な取組や事例等、どのようなものがありますか。
※関係機関として幼・小・中・高等学校と連携している取組、事例等の具体も可

所属・学年・在籍	高等学校・第2学年・通常の学級
本人及び保護者の願い	本人：できるかぎり授業に出席したい。卒業後は自動車関係の仕事をしたい。 保護者：高校を卒業して欲しい。服薬が増えることは避けたい。
自立活動の指導の具体	自己理解を促すことを目的とし、スクールカウンセラーとの定期的な面談や、本人が希望する担任以外の教員による定期的な面談を実施した。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組はどのようなものですか。

円滑な要因	オンラインでの授業を認めることで、授業に出席できないことによる不安を軽減することができた。 職員会議で、出欠状況や面談の結果、今後の支援方針等について情報共有をすることで、当該生徒の配慮事項に関して共通理解を図ることができた。
必要な取組	本人に対し、年度が替わる際の環境の変化等、丁寧に対応する必要がある。進路先や就職先に対し、丁寧な引継ぎをする必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

第2回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：高等学校

各機関において「学びの場の柔軟な見直しに繋がる自立活動の指導」に係る具体的な取組や事例等、どのようなものがありますか。
※関係機関として幼・小・中・高等学校と連携している取組、事例等の具体も可

所属・学年・在籍	通信制高等学校・第2学年・通常の学級
本人及び保護者の願い	本人：ゲームのソフトがほしい、アイドルのコンサートに行きたい 保護者：自立してほしい
自立活動の指導の具体	関係機関が主となり、自己理解を促すことを目的とし、本人の興味・関心に寄り添った面談を継続し、アセスメントを実施した。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組はどのようなものですか。

円滑な要因	関係機関が、本人の現状を肯定的に捉え、できるところから関わりをもつことで自己理解を深めることができた。本人のやりたいことが明確になったことで、適切な関係機関へ繋ぐことができた。
必要な取組	本人、保護者に対する障がい特性の理解やサポート体制が必要である。また、成功体験の積み重ねによる「自尊心」や「自己肯定感」を育む取組が必要である。

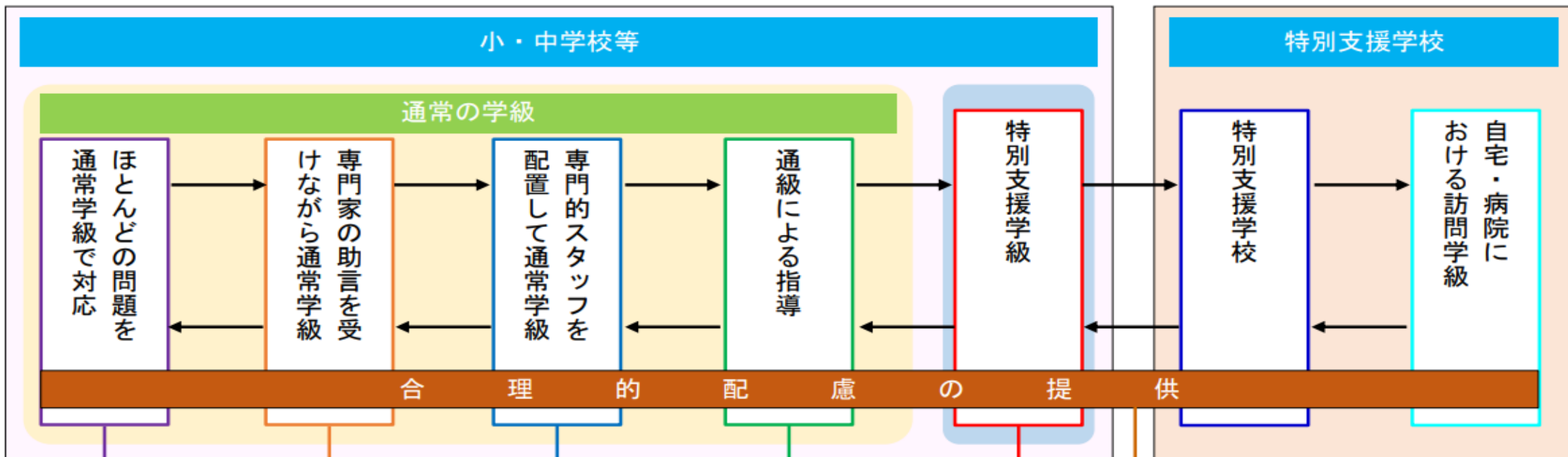
7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

まとめ

「多様な学びの場」における段階的な検討



授業のUD化を図り、全ての児童生徒に分かりやすい授業づくりが行われているか？

全ての児童生徒が安全・安心に学ぶことができる学級経営が行われているか？

スクールカウンセラーや特別支援学校のセンタ一的機能、その他外部専門家等を活用した支援が行われているか？

特別支援教育支援員など、校内人材を活用した個に応じた支援が行われているか？

週8単位時間を上限に、自立活動の指導が行われているか？（LD、ADHDは年間10単位時間以上）

週の授業時数の半分以上を目安に、少人数で編制する特別支援学級で個に応じた指導や支援が行われているか？

個別の指導計画を作成し、必要な支援及び合理的配慮の提供が行われているか？

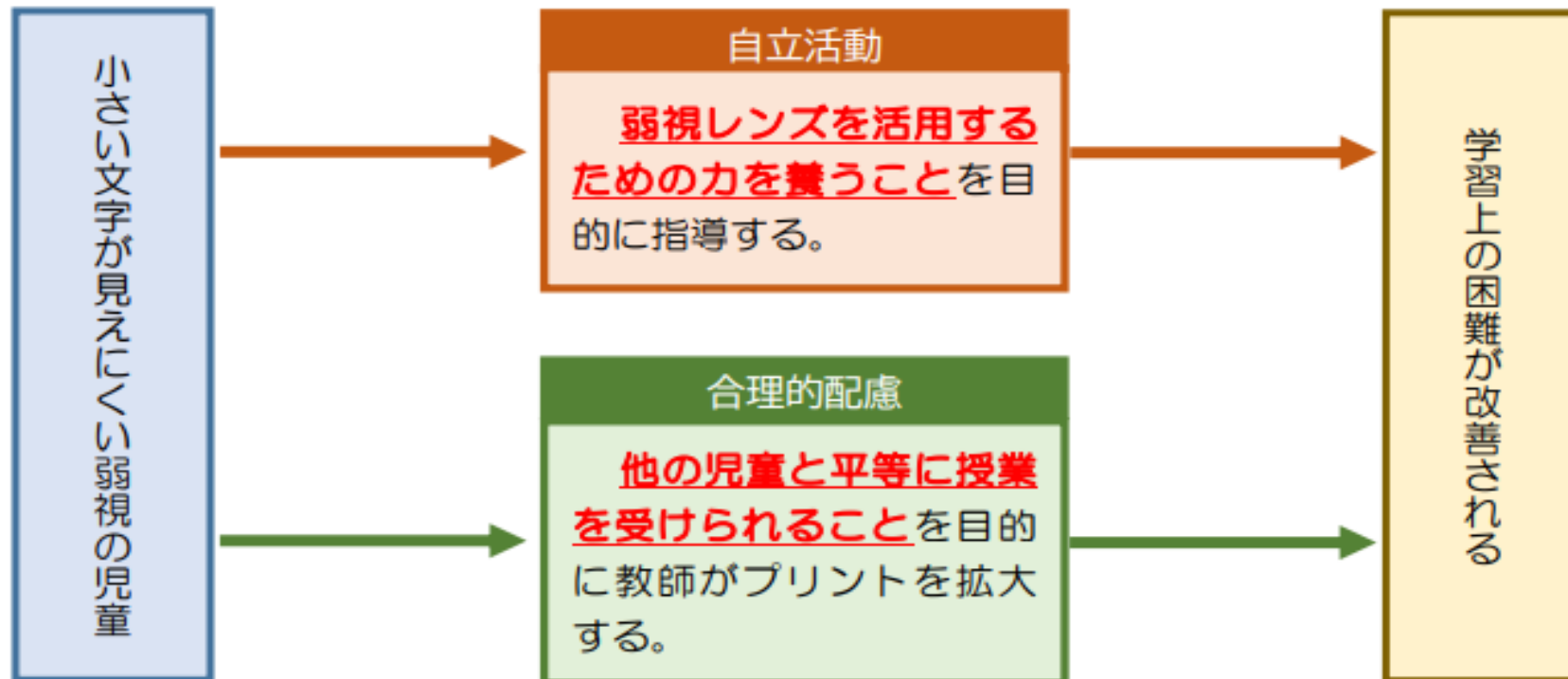
保護者を含めた全ての関係者で共通理解を図ることが重要



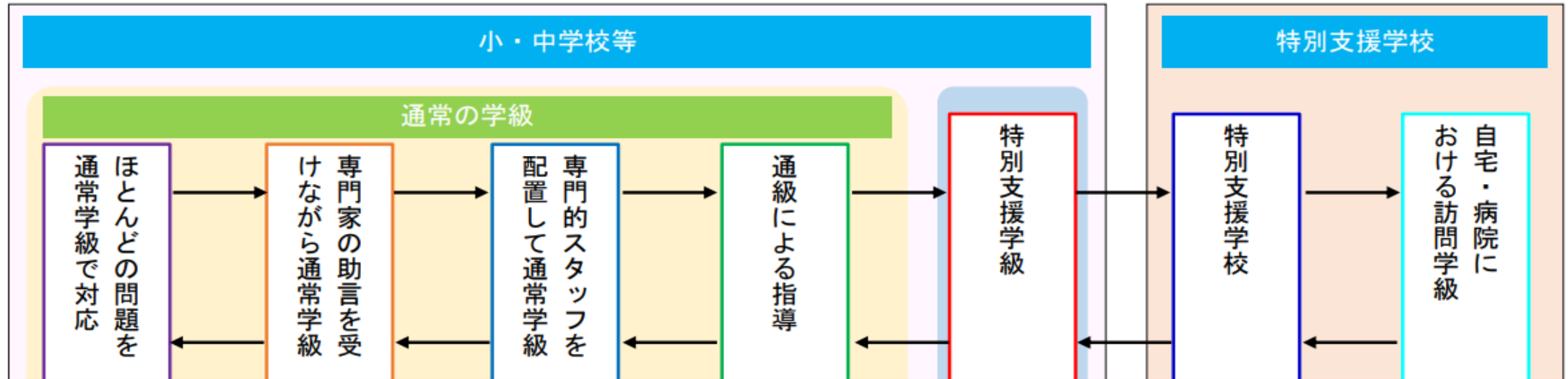
「自立活動」と「合理的配慮」の例

○ 自立活動と合理的配慮の関係

下の図にあるように、小さい文字が見えにくい弱視の児童の場合、この児童がプリントの文字が見えにくいという学習上の**困難を主体的に改善・克服できる**よう、弱視レンズを活用するための力を養うことを目的に指導するのが自立活動であり、**他の児童と平等に授業を受けられる**ことを目的に、教師が拡大したプリントを用意することが合理的配慮です。



「環境調整」の視点からの支援



「合理的配慮」や「自立活動の指導」など、
「環境調整」の視点からの支援が重要である。

れているか？

全ての児童生徒が安全・安心に学ぶことができる学級経営が行われているか？

を活用した支援が行われているか？

特別支援教育支援員など、校内人材を活用した個に応じた支援が行われているか？

週の授業時数の半分以上を目安に、少人数で編制する特別支援学級で個に応じた指導や支援が行われているか？

「自立活動」や「合理的配慮」の具体例


【自立活動について】

【合理的配慮について】

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE National Institute of Special Needs Education

対象：通常の学級の担任
選級による指導の担当
特別支援学級の担任

※最新版は、
https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series
から直接ダウンロードできます。




特別支援教育リーフ Vol.18

「自立活動」をプラスして、子供の
できた！わかった！を増やしていこう



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

インターネットによる購読配信もあります。詳しくは「NISE学びラボ」△



特別支援学級担任の
ハンドブック
(追補版)
【自立活動編】


令和5年(2023年)3月
北海道立特別支援教育センター



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE National Institute of Special Needs Education


対象：通常の学級の担任

※最新版は
https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series
から直接ダウンロードできます。



特別支援教育リーフ Vol.5

このように考えよう、合理的配慮



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

インターネットによる購読配信もあります。詳しくは「NISE学びラボ」△

